

第 10 期

第 3 四半期報告書

(平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで)



平成 16 年 4 月 16 日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

四半期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	前年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	今年度 第2四半期 H15.10.1～ H15.12.31	今年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	今年度 累計 H15.7.1～ H16.3.31	前年 同期比	前年度 同期累計 H14.7.1～ H15.3.31
営業収益								
売上高	39,670	43,092	70,824	43,880	44,608	159,314	+14.3%	139,411
営業費用								
売上原価	35,296	38,855	39,449	43,052	35,522	118,023	+4.2%	113,219
販売費及び一般管理費	9,577	9,525	9,016	8,878	9,571	27,465	2.5%	28,159
営業利益または営業損失()	5,203	5,287	22,359	8,049	484	13,825		1,967
営業外収益	708	47	1,961	511	166	2,639		942
営業外費用	1,482	1,570	1,577	1,497	1,989	5,063		4,864
経常利益または経常損失()	5,977	6,809	22,743	9,034	2,307	11,400		5,889
特別利益	-	-	-	-	-	-		-
特別損失	-	-	379	514	-	893		-
税引前四半期(当期)純利益または純損失()	5,977	6,809	22,363	9,548	2,307	10,506		5,889
法人税、住民税及び事業税	-	1,192	-	531	-	531		-
四半期(当期)純利益または純損失()	5,977	8,001	22,363	10,079	2,307	9,975		5,889
前四半期繰越損益	137,787	143,764	151,766	129,403	139,482	151,766		137,875
四半期(当期)未処分利益または純損失()	143,764	151,766	129,403	139,482	141,790	141,790		143,764

期中平均株式数	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	-	5,620株
1株当たり当期純利益または純損失()	1,063円	1,423円	3,979円	1,793円	410円	1,775円	-	1,047円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(注1)	-	-	3,833円	-	-	1,710円	-	-

(注1) 前年度第3四半期、第4四半期、今年度第2四半期、第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

(2) 部門別売上高 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	前年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	今年度 第2四半期 H15.10.1～ H15.12.31	今年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	今年度 累計 H15.7.1～ H16.3.31	前年 同期比	前年度 累計 H14.7.1～ H15.3.31
本社	411	2,483	461	1,006	2,286	3,754	+201.3%	1,246
鬼怒川店	8,104	8,019	14,710	8,583	8,321	31,615	+0.6%	31,433
那須店	4,458	5,528	11,245	5,868	5,997	23,111	+18.8%	19,458
秋田六郷店	2,772	3,909	5,911	3,897	3,085	12,894	+11.6%	11,557
山中湖店	7,851	8,338	14,755	8,338	8,138	31,232	+18.3%	26,398
沼田店	7,389	6,262	8,753	7,011	7,694	23,458	+6.4%	22,054
水戸大洗店	6,140	5,081	9,427	6,082	6,188	21,698	+11.2%	19,520
北上店	2,541	3,469	5,558	3,093	2,894	11,546	+49.1%	7,743
合計	39,670	43,092	70,824	43,880	44,608	159,314	+14.3%	139,411

(3) 部門別経常損益 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	前年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	今年度 第2四半期 H15.10.1～ H15.12.31	今年度 第3四半期 H16.1.1～ H16.3.31	今年度 累計 H15.7.1～ H16.3.31	前年 同期比 (差額)	前年度 累計 H14.7.1～ H15.3.31
本社(注1)	9,023	7,656	7,251	8,457	8,616	24,326	+3,594	27,920
鬼怒川店	893	725	6,631	324	1,983	8,939	+803	8,136
那須店	311	46	5,525	489	1,256	7,271	+2,412	4,859
秋田六郷店	1,088	1,091	1,424	998	878	452	+980	1,432
山中湖店	2,037	1,163	7,882	808	2,326	11,018	+2,746	8,272
沼田店	1,829	731	3,233	1,104	2,251	6,589	+1,356	5,233
水戸大洗店	1,049	138	4,351	282	933	5,002	+1,255	3,747
北上店	1,987	868	946	2,023	1,564	2,641	+4,142	6,783
合計	5,977	6,809	22,743	9,034	2,307	11,400	+17,289	5,889

(注1) 本社の経常損益には、オープン準備中の「仙台亘理店」と「小淵沢店」の経常損失を含んでおります。

(4) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目		期別	前年度	前年度	今年度	今年度	今年度
			第3四半期末	第4四半期末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末
			H15.3.31	H15.6.30	H15.9.30	H15.12.31	H16.3.31
(資産の部)	流動資産						
	現金預金		6,796	11,185	30,787	28,534	19,915
	その他		1,462	4,302	4,346	5,306	4,888
	流動資産合計		8,258	15,487	35,134	33,841	24,803
	固定資産						
	有形固定資産		394,768	389,232	385,254	381,183	388,543
	無形固定資産		2,483	2,323	2,163	2,166	1,997
	投資その他の資産		13,481	15,514	15,405	17,162	18,935
固定資産合計		410,730	407,071	402,823	400,511	409,476	
繰延資産		92	-	-	-	-	
資産合計		419,081	422,559	437,957	434,352	434,280	
(負債の部)	流動負債		39,310	57,061	4,519	8,929	24,421
	固定負債		223,330	217,064	262,641	264,706	251,450
	負債合計		262,641	274,125	267,161	273,635	275,871
(資本の部)	資本金		281,000	281,000	281,000	281,000	281,000
	資本剰余金						
	資本準備金		19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
	利益剰余金						
	四半期(当期)未処分利益または損失()		143,764	151,766	129,403	139,482	141,790
資本合計		156,435	148,433	170,796	160,717	158,409	
負債資本合計		419,081	422,559	437,957	434,352	434,280	
発行済株式総数		5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	
1株当たり純資産		27,835円	26,411円	30,390円	28,597円	28,186円	

(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
繰延資産の処理方法	各四半期末の繰延資産償却費は、年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税は、計上を省略しております。
消費税等の会計処理	仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表および損益計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 長期前払費用

定額法を採用しております。なお、期間内均等償却によっております。

2. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

第 10 期第 3 四半期（平成 15 年 7 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）の業績の概況

(1) 本社

「仙台亘理店」に続き「小湍沢店」の出店が決まり企画調整費の支払いを受けたため、売上高は 3,754 千円と前期に比べ大幅に増加しました。経費削減などにより、経常損失も 3,594 千円減少しております。

(2) 鬼怒川店

7 店舗の中で唯一、前年同期に比べ稼働率（60.6 58.7%）が微減となりましたが、売上高（+0.6%）、経常利益（+803 千円）はともに微増となりました。鬼怒川エリア全体の観光客が減少しておりますが、来期にかけて建物の補修や設備の改良などを行い、業績の回復を図りたいと計画しております。

(3) 那須店

前年同期に比べ、稼働率（53.4 65.0%）売上高（+18.8%）経常利益（+2,412 千円）とも大幅に業績が伸びております。12 月に実施した大幅な改築により、引き続き業績の伸びを期待しているところです。

(4) 秋田六郷店

稼働率（45.0 52.4%）、売上高（+11.6%）とも前年同期を上回っておりますが、経常損益は 452 千円の経常損失となっており、大きく改善（+980 千円）したものの通期での黒字転換は困難な見通しです。今期中に改装工事を行って稼働率を向上させ、来期は確実に黒字転換を実現させる計画です。

(5) 山中湖店

稼働率（70.7 75.1%）、売上高（+18.3%）、経常利益（+2,746 千円）とも大幅に前年同期を上回っており好調ですが、増加幅は小さくなっており、今後は頭打ちの状況を迎えると予想しております。

(6) 沼田店

「山中湖店」同様、稼働率（82.0 86.5%）、売上高（+6.4%）、経常利益（+1,356 千円）とも前年同期を上回りきわめて好調ですが、増加幅は小さくなっております。

(7) 水戸大洗店

リピーターが 50%を越え、きわめて安定した状態に達しており、稼働率（63.7 75.0%）、売上高（+11.2%）、経常利益（+1,255 千円）ともに前年同期を上回り好調です。

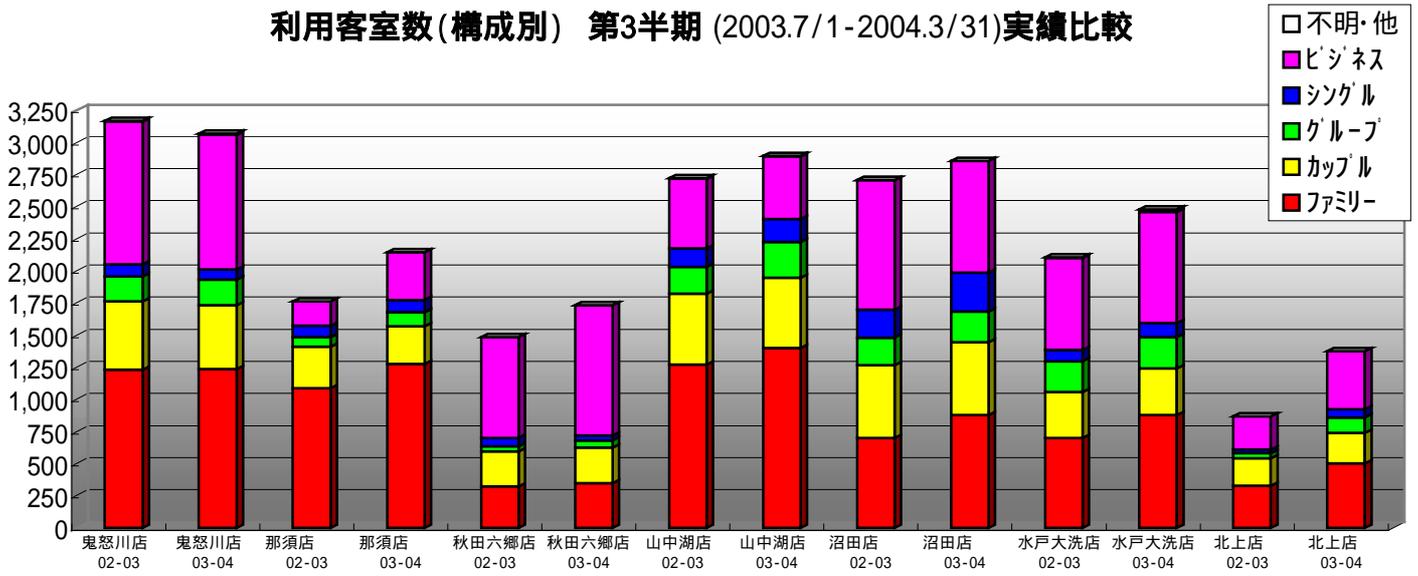
(8) 北上店

稼働率（26.3 41.7%）、売上高（+49.1%）、経常利益（+4,142 千円）とも大幅に前年同期を上回りましたが、通期での黒字化には遠い状況です。伸び悩みの傾向も見られることから、「仙台亘理店」のオープンにより「秋田六郷店」「北上店」の集客増を図り、来期の黒字転換を実現したいと考えております。

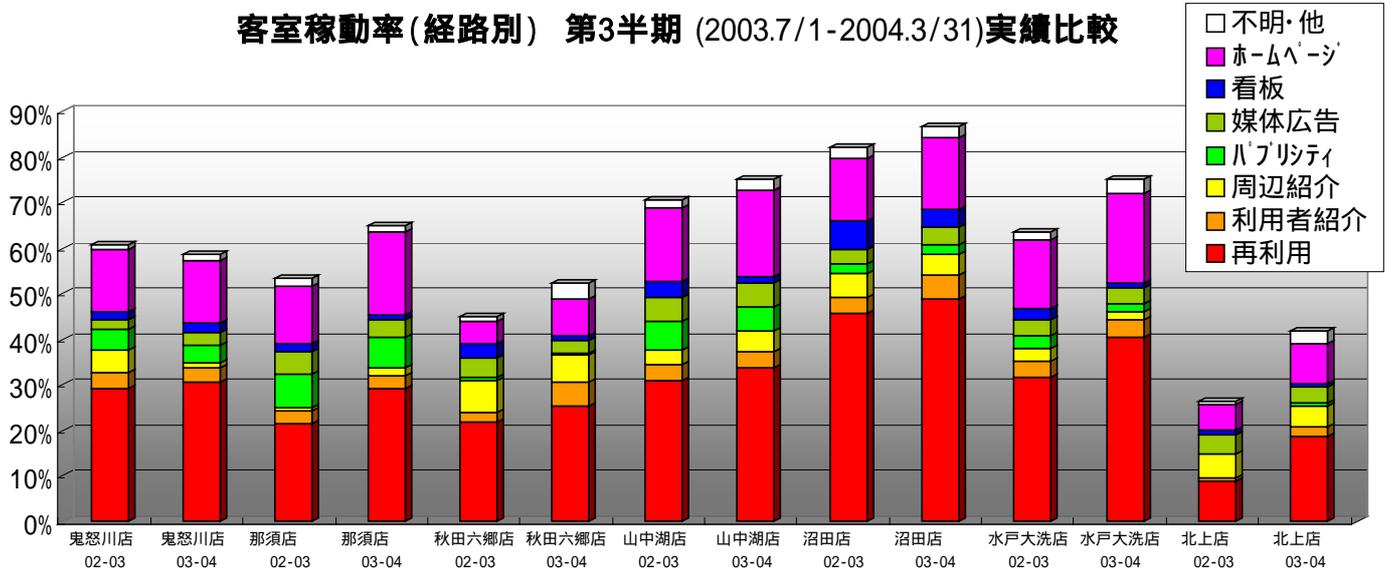
(9) 全社

全店舗で業績が前年同期を上回り、売上高 159,314 千円（前年同期比 +14.3%）、営業利益 13,825 千円（前年同期は 1,967 千円の営業損失）、経常利益 11,400 千円（前年同期は 5,889 千円の経常損失）となりました。第 3 四半期末の累計当期純利益（9,975 千円、前年同期は 5,889 千円の累計当期純損失）が黒字となるのは会社設立以来初のことです。第 4 四半期に不測の状況が発生しない限り、通期での黒字達成もほぼ確実な見通しです。

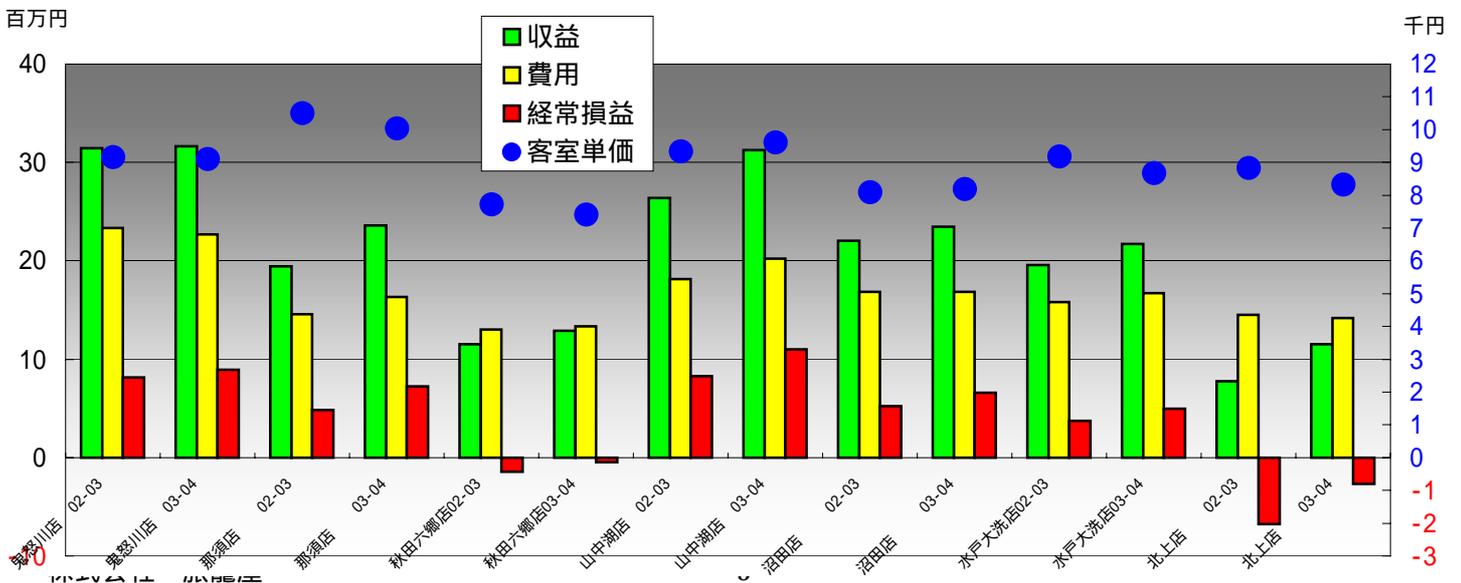
利用客室数(構成別) 第3半期 (2003.7/1-2004.3/31)実績比較



客室稼働率(経路別) 第3半期 (2003.7/1-2004.3/31)実績比較



収益・費用・経常損益・客室単価 第3半期 (2003.7/1-2004.3/31)実績比較



第10期通期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度実績 H14.7.1～ H15.6.30	今年度予想				
		第1四半期 実績 H15.7.1-9.30	第2四半期 実績 H15.10.1-12.31	第3四半期 実績 H16.1.1-3.31	第4四半期 予想 H16.4.1-6.30	通期予想 H15.7.1～ H16.6.30
売上高	182,504	70,824	43,880	44,608	43,570	202,882
経常損益	12,699	22,743	9,034	2,307	6,402	5,000
当期純損益	13,891	22,363	10,079	2,307	7,977	2,000

第3四半期までの実績は、売上高(155,000 159,314千円)、経常損益(7,000 11,400千円)ともに、前期末の予想を上回り、第4四半期の業績が前期並みに終わったとしても通期では黒字となる見通しであり、設立以来の悲願である初の黒字転換がほぼ確実な状況となっております。4月28日オープン予定の「仙台亙理店」の集客に努め、第4四半期の損失額を小さくするよう最善を尽くす計画です。

資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30	第10期 第1四半期 H15.7.1～9.30	第10期 第2四半期 H15.10.1～12.31	第10期 第3四半期 H16.1.1～3.31
現金および預金の増減額		+ 4,388	+ 19,602	2,253	8,619
現金および預金の四半期首残高		6,796	11,185	30,787	28,534
現金および預金の四半期末残高		11,185	30,787	28,534	19,915

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30	第10期 第1四半期 H15.7.1～9.30	第10期 第2四半期 H15.10.1～12.31	第10期 第3四半期 H16.1.1～3.31
短期借入金の増減額		+ 10,000	15,000	-	+ 20,000
短期借入金の四半期首残高		5,000	15,000	-	-
短期借入金の四半期末残高		15,000	-	-	20,000

増加は東京シティ信用金庫からの短期運転資金借入れ20,000千円(本年8月返済予定)によるものです。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30	第10期 第1四半期 H15.7.1～9.30	第10期 第2四半期 H15.10.1～12.31	第10期 第3四半期 H16.1.1～3.31
長期借入金の増減額		3,653	+ 13,570	+ 2,470	12,444
長期借入金の四半期首残高		248,962	245,309	258,879	261,349
長期借入金の四半期末残高		245,309	258,879	261,349	248,905

借入金の減少は、約定返済によるものです。

今後の事業展開と出店計画について

「仙台亘理店」が4月28日にオープン

8号「仙台亘理店」の建築工事がほぼ完了し、4月28日にオープンの予定です。

ゴールデンウィークの5月1日～4日はすでに満室となっており、比較的短期間に稼働率を上げ、今期および来期の利益拡大に寄与して欲しいところです。「北上店」「秋田六郷店」への相乗効果も期待しております。



「小淵沢店」が着工、7月17日オープン予定

2月に9号「小淵沢店」の出店契約がまとまり、3月下旬に着工しました。7月初めに竣工、7月17日にオープンの予定です。すでに予約の受付を始めておりますが、夏休み期間の予約が順調に増えております。幹線道路沿いではなく、JR小淵沢駅から徒歩数分という立地ですが、八ヶ岳高原観光に便利な場所であり、オープン直後の夏休みから多くの利用者を集めるべく事前のPRに努めているところです。

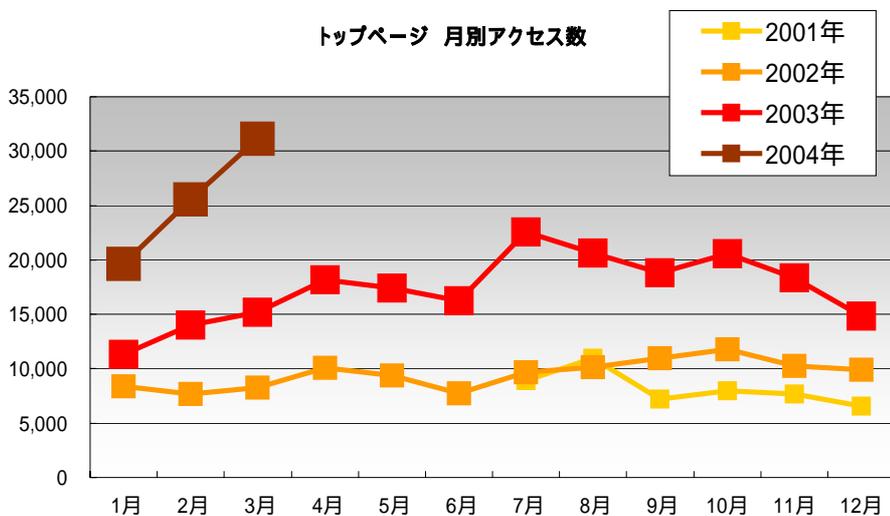
その他の出店計画

茨城県、千葉県などで具体的な計画が進んでおりますが、性急な投資は損益・収支を悪化させる要因ともなりますので、慎重に立地と時期を選びながら、新規出店を図る計画です。

「秋田六郷店」「鬼怒川店」の改修工事を計画中

昨年末に「那須店」の改築工事を行いました。夏休み前までに「秋田六郷店」の改装と「鬼怒川店」の空調設備の改善を実施する予定です。これによって居住性を改善し、稼働率の向上を図る計画です。

ネットの効果的な活用とセキュリティの改善



年々当社ウェブサイトへのアクセス数が増加し、ネット経由での予約数も増加しております。2月には携帯電話用のサイトも開設し、4月中旬からはその中に予約ページも設けております。なお、社内のWANシステムの安定性とセキュリティの強化を図るため、今期末を目処にサーバの外部委託とVPNの採用を行う計画です。

以上